

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年5月11日
【四半期会計期間】	第16期第2四半期（自平成24年1月1日至平成24年3月31日）
【会社名】	株式会社ドワンゴ
【英訳名】	DWANGO Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小林 宏
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋浜町二丁目31番1号
【電話番号】	(03)3664-5477(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 コーポレート本部長 松本 康一郎
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋浜町二丁目31番1号
【電話番号】	(03)3664-5477(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 コーポレート本部長 松本 康一郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第2四半期 連結累計期間	第16期 第2四半期 連結累計期間	第15期
会計期間	自平成22年 10月1日 至平成23年 3月31日	自平成23年 10月1日 至平成24年 3月31日	自平成22年 10月1日 至平成23年 9月30日
売上高(千円)	17,813,959	18,293,668	34,298,386
経常利益(千円)	1,033,386	717,046	1,473,844
四半期(当期)純利益(千円)	694,202	484,928	1,238,503
四半期包括利益又は包括利益(千円)	694,740	598,584	1,275,736
純資産額(千円)	16,962,797	19,393,899	20,550,638
総資産額(千円)	24,047,213	27,539,006	27,018,467
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	3,707.32	2,454.66	6,439.97
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	65.2	70.3	71.7
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,563,778	1,636,146	3,077,403
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,665,231	1,851,946	5,063,768
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	380,536	835,522	1,625,516
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高(千円)	6,881,452	5,948,035	6,997,631

回次	第15期 第2四半期 連結会計期間	第16期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年 1月1日 至平成23年 3月31日	自平成24年 1月1日 至平成24年 3月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	1,937.21	767.91

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 売上高には消費税等は含まれておりません。
4. 第15期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理をしております。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。



## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当社は、平成24年2月9日の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社CELLを当社の完全子会社とする株式交換を行うことを決議しており、同日付けで株式交換契約を締結いたしました。また、平成24年3月31日付をもって株式交換をしております。

詳細は、「第4 経理の状況 1.四半期連結財務諸表 注記事項（企業結合等関係）」に記載のとおりであります。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### （1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成23年10月1日～平成24年3月31日）における我が国経済は、欧州の債務問題が一旦落ち着いたことに加え、日銀の追加金融緩和により円高修正の動きも見られました。しかしながら、これまで世界景気を牽引してきた新興国経済に、一部減速感が出るなど、先行きについては不透明な状況が続いております。

当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）を取り巻く環境は、新型タブレット端末が発売されるなど、スマートフォンだけではなく、高機能携帯端末の普及も拡大しております。それにとともに、スマートフォンやタブレット端末からのサービスサイトへのアクセスが急増している他、新たなサービスやアプリも次々と登場しており、スマートフォン関連の市場は拡大しております。

さらに、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、動画配信サービス、電子書籍などもこれまで以上に利用しやすくなっております。

今後も、様々な通信デバイスから利用できる新たなコンテンツが登場してくると予測しております。

この様な環境の中、当社グループにおきましては、ネットワークを通じた新しいコミュニケーション手段を提供すべく、ネットワークエンタテインメントサービス・コンテンツを携帯電話、スマートフォン、PC、家庭用ゲームソフト市場などで事業展開してまいりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

モバイル事業においては、Androidスマートフォン向けに、高音質楽曲配信サービス「dwango.jp」をdocomo、KDDI、SoftBankの国内主要3キャリアに展開しました。また、着うた®、着ボイス®の配信サービスやアニメ総合サービス「アニメロミックス」、K-POPや韓国ドラマなど韓国をメインとしたアジア系音楽配信サイト「K-POP Life」を開始するなど、サービスを拡大しました。

従来の携帯電話端末向けには、主力となる音楽系サイトの着うた®や着うたフル®を中心に、人気アーティストの楽曲配信権利獲得や当社グループの強みを活かしたニコニコ動画系オリジナルコンテンツなどを拡充し、ユーザ満足度向上に努めました。

\*なお、有料ユニークユーザ数及びARPUは算出方法の変更にとともに、従来との妥当な比較ができないため、記載を省略しております。

費用面においては、著作権等使用料が想定を下回り、広告宣伝費の一部を翌四半期に先送りしました。

以上の結果、モバイル事業の売上高は73億4百万円（前年同期比16.5%減）、セグメント利益（営業利益）は12億58百万円（前年同期比27.8%減）となりました。

ゲーム事業においては、従来の据置型や携帯型ゲーム機を中心とした国内家庭用ゲーム市場は、厳しい状況が続いております。一方、スマートフォンや携帯電話端末のプラットフォームを利用したソーシャルモバイルゲームは高成長を持続しております。

その中で、携帯型ゲーム機、据置型ゲーム機向けに、平成23年12月に「真かまいたちの夜 11人目の訪問者」、「忍道2」を、平成24年2月に「善人シボウデス」を発売しました。海外タイトルの国内展開では平成23年10月に「DEAD ISLAND」、平成24年2月に「Dragon Age」を発売しました。スマートフォンや携帯電話端末向けには、「風来のシレンみんなで不思議のダンジョン」を他社プラットフォームに提供しました。また、受託タイトルのロイヤリティ収入がありました。

以上の結果、ゲーム事業の売上高は34億29百万円（前年同期比15.1%減）、セグメント利益（営業利益）は4億33百万円（前年同期は25百万円の損失）となりました。

ポータル事業においては、新バージョン「ニコニコ動画：Zero」、「ニコニコ生放送：Zero」のサービス開始に向けて随時、新機能や新サービスを投入してきました。

ニコニコ生放送においては、プロ野球生中継が東北楽天ゴールデンイーグルスに続き、福岡ソフトバンクホークス、横浜DeNAベイスターズで本格スタートした他、ディズニー提供作品や東映、松竹、香港映画の配信を開始するなどコンテンツの増強に努めました。「ニコニコ静画」では、角川グループの電子書籍プラットフォーム「BOOK?WALKER」との連携やマンガコンテンツを拡充しました。

また、スマートフォンへの対応としては、2月からdocomo、Softbankでニコニコポイントの決済が可能となり、KDDIを含め国内主要キャリアのスマートフォンでニコニコポイントが購入できるようになりました。

これらの取り組みにより、平成24年3月末には登録会員数2,648万人、様々な特典が受けられる「ニコニコプレミアム会員」は159万人、「ニコニコ動画モバイル」の会員数は737万人となりました。

収益面におきましては、「ニコニコプレミアム会員」が順調に増加しており売上に貢献している他、広告収入やアフィリエイト収入、ポイント収入なども堅調に伸びております。

費用面につきましては、「ニコニコ生放送」の番組制作費用や集客・収入に繋がる新サービスへの投資などを継続しております。

以上の結果、ポータル事業の売上高は65億95百万円（前年同期比45.2%増）、セグメント利益（営業利益）は6億25百万円（前年同期は9百万円のセグメント利益）となりました。

ライブ事業においては、「源氏物語」、「カンタレラ2012～裏切りの毒薬～」などのニコニコミュージカルを開催した他、ライブハウス「ニコファーレ」では、ニコニコ動画系のイベントやコンサートだけではなく、ゲーム系イベントや討論、ファッションショー、映画試写会など様々なイベントを開催しました。また、各種イベント向けにホールの貸出なども行いました。

以上の結果、ライブ事業の売上高は1億72百万円、セグメント損失（営業損失）は3億1百万円となりました。

その他の事業においては、主にアニメ分野やニコニコ動画から生まれたコンテンツのCDやDVDなどの音楽出版及び著作権利用料収入が売上に貢献しました。

以上の結果、その他の事業の売上高は14億15百万円、セグメント損失（営業損失）は1億95百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間業績は、売上高182億93百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益8億27百万円（前年同期比27.1%減）、経常利益7億17百万円（前年同期比30.6%減）、四半期純利益は4億84百万円（前年同期比30.1%減）となりました。

## （2）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動において増加したものの、投資活動及び財務活動により減少したことにより10億49百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は16億36百万円（前年同期は15億63百万円の収入）となりました。これは主に売上債権の増加で5億96百万円、その他資産の増加で4億23百万円の支出要因となったものの、税金等調整前四半期純利益で7億91百万円、減価償却費で7億78百万円、未払金の増加で5億45百万円が収入要因となったためであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は18億51百万円（前年同期は16億65百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得により8億93百万円、無形固定資産の取得により5億92百万円を支出したこと等によるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は8億35百万円（前年同期は3億80百万円の支出）となりました。これは短期借入金の借入による収入が13億30百万円あったものの、自己株式の取得により13億90百万円、配当金の支払により4億1百万円を支出したこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は194百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 従業員数

連結会社の状況

当第2四半期連結累計期間において、連結会社の従業員数の著しい増減はありません。

提出会社の状況

当第2四半期累計期間において、当社は平成24年1月1日付で株式会社ドワンゴモバイル(旧 株式会社DW)を承継会社とするモバイル事業の会社分割をしました。これに伴い、従業員数が170名減少しております。

なお、従業員数は就業人員数(当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む。)であります。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	528,000
計	528,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成24年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年5月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	204,052	204,052	東京証券取引所 市場第一部	(注)
計	204,052	204,052	-	-

(注) 当社は単元株制度は採用していません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年1月1日～ 平成24年3月31日	-	204,052	-	10,616,302	-	3,166,825

( 6 ) 【大株主の状況】

平成24年3月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社	東京都港区南青山3丁目1-30	40,900	20.04
川上 量生	東京都中央区	34,395	16.85
株式会社角川グループホールディングス	東京都千代田区富士見2丁目13-3	16,800	8.23
横澤 大輔	東京都渋谷区	6,522	3.19
森 栄樹	東京都中央区	5,100	2.49
太田 豊紀	東京都中央区	4,750	2.32
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	4,245	2.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	3,033	1.48
ゴールドマン・サックス・インターナショナル (常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社)	東京都港区六本木6丁目10-1 六本木ヒルズ森タワー	2,238	1.09
原 知行	東京都世田谷区	2,096	1.02
計	-	120,079	58.84

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 45	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 204,007	204,007	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	204,052	-	-
総株主の議決権	-	204,007	-

(注) 1. 「完全議決権株式(自己株式等)」の欄には、平成24年3月31日を効力発生日とした、株式会社CELLとの株式交換により生じた端株2株が含まれております。

2. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

【自己株式等】

平成24年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社ドワンゴ	東京都中央区日本橋浜町2丁目31番1号	45	-	45	0.02
計	-	45	-	45	0.02

(注) 平成24年2月9日に当社の連結子会社である株式会社CELLとの間で、同社を完全子会社とする株式交換契約

を締結いたしました。株式交換の効力発生日は平成24年3月31日としており、同日をもって自己株式10,564株を株式会社CELLの株主に割当交付いたしました。なお、上記自己名義所有株式数には、同株式交換において生じた端株2株が含まれております。

2 【役員】の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年1月1日から平成24年3月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年10月1日から平成24年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,789,711	5,639,946
受取手形及び売掛金	6,420,601	7,016,922
有価証券	508,079	508,248
商品及び製品	163,673	180,560
仕掛品	762,700	434,694
原材料及び貯蔵品	14,937	30,039
その他	1,280,259	1,420,242
貸倒引当金	4,020	3,627
流動資産合計	15,935,944	15,227,026
固定資産		
有形固定資産	2,695,090	3,112,364
無形固定資産		
のれん	799,076	1,201,968
その他	1,539,185	1,879,948
無形固定資産合計	2,338,262	3,081,917
投資その他の資産		
投資有価証券	4,899,258	5,013,560
その他	1,153,138	1,229,761
貸倒引当金	3,228	125,624
投資その他の資産合計	6,049,169	6,117,697
固定資産合計	11,082,523	12,311,979
資産合計	27,018,467	27,539,006
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,984,366	2,051,809
短期借入金	316,416	1,336,416
未払法人税等	330,903	240,492
賞与引当金	490,266	487,158
ポイント引当金	40,795	70,256
資産除去債務	48,098	-
その他	2,693,951	3,396,124
流動負債合計	5,904,797	7,582,257
固定負債		
長期借入金	149,770	89,062
資産除去債務	248,225	319,935
その他	165,035	153,851
固定負債合計	563,030	562,849
負債合計	6,467,828	8,145,106

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,616,302	10,616,302
資本剰余金	10,022,921	9,497,145
利益剰余金	1,387,378	902,449
自己株式	-	5,636
株主資本合計	19,251,845	19,205,361
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,106	151,762
為替換算調整勘定	1,548	643
その他の包括利益累計額合計	131,557	151,119
少数株主持分	1,167,235	37,418
純資産合計	20,550,638	19,393,899
負債純資産合計	27,018,467	27,539,006

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	17,813,959	18,293,668
売上原価	10,640,262	11,060,841
売上総利益	7,173,696	7,232,826
販売費及び一般管理費	6,038,279	6,405,252
営業利益	1,135,416	827,573
営業外収益		
受取利息	4,367	3,371
受取配当金	910	900
為替差益	2,784	10,893
持分法による投資利益	-	13,229
その他	6,065	8,321
営業外収益合計	14,128	36,715
営業外費用		
支払利息	12,645	4,726
貸倒引当金繰入額	-	125,167
持分法による投資損失	21,893	-
投資事業組合運用損	6,747	8,353
寄付金	72,900	-
その他	1,971	8,994
営業外費用合計	116,157	147,242
経常利益	1,033,386	717,046
特別利益		
投資有価証券売却益	162,931	-
関係会社株式売却益	-	2,100
段階取得に係る差益	30,000	-
負ののれん発生益	-	132,142
その他	1,837	-
特別利益合計	194,769	134,242
特別損失		
固定資産除却損	11,230	5,001
減損損失	40,573	-
投資有価証券評価損	12,426	36,045
事務所移転費用	-	19,121
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	87,810	-
その他	-	118
特別損失合計	152,040	60,286
税金等調整前四半期純利益	1,076,115	791,003
法人税、住民税及び事業税	394,901	163,722
法人税等還付税額	20,783	-
法人税等調整額	323	48,269
法人税等合計	373,793	211,992
少数株主損益調整前四半期純利益	702,322	579,011
少数株主利益	8,119	94,082
四半期純利益	694,202	484,928

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	702,322	579,011
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,805	18,656
為替換算調整勘定	223	916
その他の包括利益合計	7,581	19,572
四半期包括利益	694,740	598,584
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	686,578	504,490
少数株主に係る四半期包括利益	8,162	94,093

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,076,115	791,003
減価償却費	376,387	778,087
減損損失	40,573	-
段階取得に係る差損益(は益)	30,000	-
のれん償却額	-	91,415
固定資産除却損	11,230	5,001
投資有価証券評価損益(は益)	12,426	36,045
貸倒引当金の増減額(は減少)	416	122,002
賞与引当金の増減額(は減少)	26,490	3,107
返品調整引当金の増減額(は減少)	2,388	-
事業整理損失引当金の増減額(は減少)	37,789	-
ポイント引当金の増減額(は減少)	15,832	29,461
受取利息及び受取配当金	5,277	4,271
支払利息	12,645	4,726
持分法による投資損益(は益)	21,893	13,229
投資有価証券売却損益(は益)	162,931	-
関係会社株式売却損益(は益)	-	2,100
負ののれん発生益	-	132,142
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	87,810	-
投資事業組合運用損益(は益)	6,747	8,353
売上債権の増減額(は増加)	332,922	596,320
たな卸資産の増減額(は増加)	333,262	296,017
その他の資産の増減額(は増加)	495,209	342,086
仕入債務の増減額(は減少)	42,132	67,442
未払金の増減額(は減少)	228,821	545,925
前受金の増減額(は減少)	169,196	117,772
その他の負債の増減額(は減少)	229,524	197,301
その他	31,699	24,654
小計	1,712,993	1,972,642
利息及び配当金の受取額	5,267	4,271
利息の支払額	9,821	4,740
法人税等の還付額	20,783	-
法人税等の支払額	165,445	336,027
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,563,778	1,636,146

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	200,000	-
定期預金の払戻による収入	200,000	100,000
預け金の増減額(は増加)	2,654	-
有形固定資産の取得による支出	637,046	893,422
無形固定資産の取得による支出	369,971	592,828
投資有価証券の取得による支出	87,500	149,900
投資有価証券の売却による収入	193,425	-
子会社株式の取得による支出	5,000	318,394
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	591,485	-
関係会社株式の売却による収入	-	17,100
貸付けによる支出	167,500	11,130
貸付金の回収による収入	2,500	2,889
その他	-	6,260
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,665,231</b>	<b>1,851,946</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,682,000	1,330,000
短期借入金の返済による支出	1,684,000	280,000
長期借入金の返済による支出	-	90,708
リース債務の返済による支出	-	1,981
自己株式の取得による支出	-	1,390,989
配当金の支払額	371,827	401,844
少数株主への配当金の支払額	6,708	-
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>380,536</b>	<b>835,522</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>3,047</b>	<b>1,726</b>
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	478,941	1,049,596
現金及び現金同等物の期首残高	7,360,394	6,997,631
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,881,452	5,948,035

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間  
(自平成23年10月1日  
至平成24年3月31日)

(連結の範囲の重要な変更)

当第2四半期連結会計期間より、非連結子会社であった株式会社ドワンゴモバイル(旧株式会社DW)は、吸収分割によって当社の一部事業を承継したことに伴い重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間  
(自平成23年10月1日  
至平成24年3月31日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.6%から、平成24年10月1日に開始する連結会計年度から平成26年10月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については38.0%に、平成27年10月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.6%となります。この税率変更により、繰延税金負債の金額は6,963千円減少し、法人税等調整額は6,963千円減少しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)																		
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。																		
<table> <tr> <td>広告宣伝費</td> <td>2,625,152千円</td> </tr> <tr> <td>支払手数料</td> <td>1,677,189千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>52,288千円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td>21千円</td> </tr> <tr> <td>ポイント引当金繰入額</td> <td>15,832千円</td> </tr> </table>	広告宣伝費	2,625,152千円	支払手数料	1,677,189千円	賞与引当金繰入額	52,288千円	貸倒引当金繰入額	21千円	ポイント引当金繰入額	15,832千円	<table> <tr> <td>広告宣伝費</td> <td>2,204,504千円</td> </tr> <tr> <td>支払手数料</td> <td>1,787,902千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>103,388千円</td> </tr> <tr> <td>ポイント引当金繰入額</td> <td>38,926千円</td> </tr> </table>	広告宣伝費	2,204,504千円	支払手数料	1,787,902千円	賞与引当金繰入額	103,388千円	ポイント引当金繰入額	38,926千円
広告宣伝費	2,625,152千円																		
支払手数料	1,677,189千円																		
賞与引当金繰入額	52,288千円																		
貸倒引当金繰入額	21千円																		
ポイント引当金繰入額	15,832千円																		
広告宣伝費	2,204,504千円																		
支払手数料	1,787,902千円																		
賞与引当金繰入額	103,388千円																		
ポイント引当金繰入額	38,926千円																		

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)																
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年3月31日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年3月31日現在)																
<table> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td>5,874,431千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td>500,000千円</td> </tr> <tr> <td>有価証券勘定(CP等)</td> <td>1,507,020千円</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td><u>6,881,452千円</u></td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	5,874,431千円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	500,000千円	有価証券勘定(CP等)	1,507,020千円	現金及び現金同等物	<u>6,881,452千円</u>	<table> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td>5,639,946千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td>200,160千円</td> </tr> <tr> <td>有価証券勘定(CP等)</td> <td>508,248千円</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td><u>5,948,035千円</u></td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	5,639,946千円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	200,160千円	有価証券勘定(CP等)	508,248千円	現金及び現金同等物	<u>5,948,035千円</u>
現金及び預金勘定	5,874,431千円																
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	500,000千円																
有価証券勘定(CP等)	1,507,020千円																
現金及び現金同等物	<u>6,881,452千円</u>																
現金及び預金勘定	5,639,946千円																
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	200,160千円																
有価証券勘定(CP等)	508,248千円																
現金及び現金同等物	<u>5,948,035千円</u>																

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年3月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年12月21日 定時株主総会	普通株式	374,504	2,000	平成22年9月30日	平成22年12月22日	資本剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年12月20日 定時株主総会	普通株式	408,104	2,000	平成23年9月30日	平成23年12月21日	資本剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、第2四半期連結累計期間において、平成23年11月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を10,607株、1,390,989千円を取得しております。

また、当社は、平成23年3月31日付で、当社を完全親会社、株式会社CELLを完全子会社とする株式交換を行い、当社が保有する自己株式のうち10,564株を交付し、資本剰余金が117,672千円減少しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が9,497,145千円、自己株式が5,636千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	モバイル 事業	ゲーム 事業	ポータル 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	8,743,694	4,032,923	4,539,549	17,316,166	497,791	17,813,959	-	17,813,959
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,170	5,063	3,695	9,929	292,436	302,366	302,366	-
計	8,744,865	4,037,986	4,543,244	17,326,095	790,228	18,116,325	302,366	17,813,959
セグメント利益 又はセグメント 損失( )	1,743,230	25,432	9,270	1,727,068	184,166	1,542,902	407,486	1,135,416

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ライブ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 407,486千円は、セグメント間取引消去 3,638千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 403,848千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結会計期間において「ゲーム事業」セグメントが有する事業用資産について重要な減損損失を認識いたしました。当該減損損失の計上額は当第2四半期連結累計期間において40,573千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「ポータル事業」セグメント及び「その他」に含まれる一部事業セグメントにおいて、株式会社CELLの株式取得時における取得原価が取得した資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その超過額をのれんとして認識しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結会計期間においては887,819千円であります。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年10月1日 至平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	モバイル 事業	ゲーム 事業	ポータル 事業	ライブ 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	7,303,938	3,409,647	6,411,216	166,880	17,291,683	1,001,985	18,293,668	-	18,293,668
セグメント間の内部売上高又は振替高	277	19,794	184,257	5,672	210,001	413,465	623,467	623,467	-
計	7,304,215	3,429,442	6,595,473	172,553	17,501,685	1,415,450	18,917,135	623,467	18,293,668
セグメント利益又はセグメント損失（ ）	1,258,219	433,112	625,154	301,075	2,015,411	195,629	1,819,782	992,208	827,573

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ出資等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 992,208千円は、セグメント間取引消去96,420千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,088,628千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

平成24年3月31日付で株式会社CELLを株式交換により完全子会社化しました。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては491,678千円であります。なお、当該のれんは特定の報告セグメントに帰属しておりません。

（重要な負ののれん発生益）

「ゲーム事業」セグメントにおいて、株式会社ゲームズアリーナの株式追加取得時における取得原価が減少する少数株主持分の金額を下回ったため、その超過額を負ののれん発生益として認識しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては131,473千円でありませす。

（金融商品関係）

該当事項はありません。

（有価証券関係）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引関係）

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

共通支配下の取引等

(会社分割によるモバイル事業の完全子会社への承継)

1. 取引の概要

(1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称 株式会社ドワンゴのモバイル事業

事業の内容 携帯向けコンテンツの企画・開発・運営

(2) 企業結合日

平成24年1月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を分割会社、株式会社DW(当社の非連結子会社)を承継会社とする会社分割

(4) 企業結合後企業の名称

株式会社ドワンゴモバイル

(5) その他取引の概要に関する事項

ネットワーク・エンタテインメントサービスを取り巻く環境は、以前にも増してユーザ嗜好の移り変わりの早さや多様化、グローバル化などへの対応が迫られており、第二の創業期とも言える大きな変革期を迎えております。

このような経営環境におきまして、競争優位性を高め、持続的な成長を維持するためには、変化に対応するための迅速性や効率性を発揮できる、機動的かつ柔軟なグループ運営体制が必要であると判断し、将来的な持株会社制への移行も視野に入れ、本会社分割を実施することを決定いたしました。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(株式交換による株式会社CELLの完全子会社化)

1. 取引の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

企業の名称 株式会社CELL

事業の内容 デジタルコンテンツ企画、制作、販売テレビ、ラジオ番組及び映画、各種イベントの企画、制作等

(2) 企業結合日

平成24年3月31日

(3) 企業結合の法的形式

当社が株式会社CELLの完全親会社となり、株式会社CELLが当社の完全子会社となる株式交換

なお、当社は本件の株式交換を会社法第796条第3項の規定に基づく簡易株式交換により実施いたしました。

(4) 企業結合後企業の名称

変更ありません。

(5) その他取引の概要に関する事項

平成23年2月21日付のCELL株式取得後、同社の強みである独自の技術や培ったノウハウに、当社の強みである高度なネットワーク技術とエンタテインメント性を融合させた様々なサービスとを合わせ、ニコニコ動画における生放送番組の運営・制作やモバイルコンテンツの企画・制作など、多くの事業において連携強化を図ってまいりました。

この度の完全子会社化により、意思決定の迅速化やグループシナジー効果の一層の強化を図ってまいりたいと考えております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

3. 子会社株式の追加取得に関する事項

(1) 取得原価及びその内訳

企業結合日に交付した自己株式の時価 1,267,800千円

(2) 株式の種類別の交換比率

	当社 (株式交換完全親会社)	株式会社CELL (株式交換完全子会社)
株式交換比率	1	1.53

(注1) 当社は、本株式交換により普通株式10,564株を割当て交付いたしますが、交付する株式は保有する自己株式をもって充当します。なお、新株式の発行は行いません。

(注2) 株式会社CELLの普通株式1株に対して、当社の株式1.53株を割当て交付します。ただし、当社が既に有する株式会社CELLの株式8,475株については、本株式交換による割当ては行いません。

(3) 株式交換比率の算定方法

株式交換比率の算定は、その公正性・妥当性を担保するため、第三者算定機関を選定し、依頼しました。第三者算定機関は、当社の株式価値については上場会社であることを勘案し市場株価方式、DCF（ディスカунテッド・キャッシュ・フロー）方式により、株式会社CELLの株式価値については非上場会社であることを勘案し、DCF（ディスカунテッド・キャッシュ・フロー）方式、株価倍率方式により評価を実施し、各評価結果を総合的に勘案し、交換比率を算定しました。

当社は、当該算定結果を参考に、株式会社CELLと慎重に交渉・協議を行い、上記の交換比率に決定いたしました。

なお、第三者算定機関は、当社及び株式会社CELLの関連当事者には該当しません。

(4) 発生したのれんに関する事項

発生したのれんの金額 491,678千円

発生原因

当社の投資に対応する時価純資産が取得原価を下回ったためであります。

償却方法及び償却期間

5年にわたる均等償却

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	3,707円32銭	2,454円66銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	694,202	484,928
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	694,202	484,928
普通株式の期中平均株式数(株)	187,252	197,554

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年5月8日

株式会社ドワンゴ  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中川 正行 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 勢志 元 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ドワンゴの平成23年10月1日から平成24年9月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年1月1日から平成24年3月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年10月1日から平成24年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ドワンゴ及び連結子会社の平成24年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。